

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第1回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

3 開催日時

令和8年4月28日（火）午後6時00分から午後6時50分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：池亀副会長、草間委員、越水委員、佐藤委員、杉田委員、千町委員、
田木委員、塚田委員、南保委員、船崎会長、横田委員、横山副会長
(欠席2名)
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、小川主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【船崎会長】

- ・会議の開会を宣言

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

・会議録の確認：田木委員に依頼

■2 議題 (1) 自主的な審議 自主的審議事項について

【船崎会長】

先回の会議では、仮の審議テーマ名を決定した。今回は、①課題の解決策の確認、②花の色の決定、③一体感を出すための取組の工夫について、確認・協議するほか、④今後のスケジュール等を確認する。

初めに、①課題の解決策の確認について、事務局へ説明を求める。

【村山副所長】

・資料No.1 に基づき説明

【船崎会長】

これまでの協議内容を踏まえ、課題の解決策を「既存の植栽活動をいかし、花の色を揃え、地区全体に統一感ある景観をつくる」と整理したと事務局から説明があった。質問や意見はあるか。

【佐藤委員】

5月23日に行われる稲田むすぶプロジェクトと新道地区活性化委員会の植栽活動について、花の種類や色は決まっているのか。それが決まっているとなると、地域協議会としては、来年度の活動に向けて進めていくという形になるのか。

【村山副所長】

地域に今年度提案し、来年度以降の活動で協力していただきたいと考えている。

【船崎会長】

他に意見がなければ、課題の解決策については資料のとおりとして整理する。

次に、②花の色の決定について事務局に説明を求める。

【村山副所長】

・資料No.1 に基づき説明

新道区内の各団体の植栽状況を確認した結果、花の種類に問わず共通する色は、白や赤になる。また、新道区ではマリーゴールドの黄色・オレンジ・赤が最も多い花の種類、色になる。暖色系には元気や活力といったイメージがあるので、事務局から黄色・オレンジ・赤の暖色系を提案する。

【船崎会長】

本日は、統一する花の色について決める。事務局から暖色系の提案があったが、花の

色について意見のある方は挙手をお願いします。

【南保委員】

いろんな色があってよいと思うので、決めない方がよいのではないかと。

【横田委員】

今後、地域の各団体の取組と連携するため、それぞれ了承を得ていくのか。協力してもらっているのであれば、団体側の意向もあると思う。

【村山副所長】

地域協議会から地域の団体に提案し、地域の団体から賛同いただけるのであれば、予算化も含めて次年度に向けて動いていただきたいと考えている。

【船崎会長】

それぞれの団体に植えている花の種類が同じところもあれば、違うところもある。地域協議会から花の色を統一するという提案をしたとしても、実際には各団体に採用されるかどうかは分からない。こちらから花の色を提案して、その後は各団体にお任せするのがよいと思う。大前提は既存の植栽活動をいかすことである。

【池亀副会長】

稲田橋公園の花壇は非常に大きくて、3から5か所ある。今までは3種類の花を植えており、それらを全部同じ種類・同じ色にするのは難しい。例えば、マリーゴールドなら何色、日々草なら何色という形での取組はできると思う。ただ、日々草で「いなだ」という花文字にしている。いろいろ試したところ、一番目立つのは白で、他の色は周りと同染んで目立ちにくかった。団体の今までの経緯もあるので、例えば花の種類を一つにして色を統一するといった形であれば、受け入れてもらいやすいのではないかと。

【佐藤委員】

例えば、稲田橋の河川敷には例年植えている日々草とし、色はその活動で特色あるものを選んでもらってもよいと思う。前回は地域に代表的な花や色があるかどうか確認したが、ないのであれば、基本的には各団体に取組んでいるものをアレンジしてはどうか。また、プランターを共同で購入し、それにステッカーを貼って活動の一環であることを示してはどうか。そうすることで、自分たちの活動のアピールにつながると思う。

【横山副会長】

新道区の花というものはあるのか。

【井守所長】

「新道区のあゆみ」で新道村の歴史などを調べたが、村の花の色や花自体についての記載は確認できなかった。

【佐藤委員】

旧三和村の花は水仙だった。そういった地域に根ざした植物や花があれば、それを復活させるのも一つのイベントとして面白いと思う。難しいのであれば、現在取り組んでいるものにどうアレンジを加えていくかだと思う。

【渡邊係長】

花はこれまで団体が植えているものを変えずに、色のみを統一するという話でここまで来ている。団体が植える時期も植える花も活動自体はそのままで、花の色だけ統一できないかという提案である。花文字についても、全部一色にして花文字をやめてくださいというような無理を押し付けられないので、その点は安心していただきたい。

【千町委員】

花の色を統一する必要はないと思う。私は色よりも、種類に重きを置いた方がよいと思う。

【村山副所長】

既存の活動は花を購入する場所や時期も異なり、なるべく負担をかけないという観点から、花の色を揃えてはどうかと提案し、委員から確認いただいた。全ての色を揃えるのではなく、この色の花を必ず植えてもらうなど、地域協議会としての意見をまとめていただきたい。

【船崎会長】

花の種類ではなく、必ず入れてもらう色について、例えばピンクなら、淡いピンクがいいのか、濃いピンクがいいのかなど、意見はないか。

【千町委員】

参考までに、中央橋のプランターは、黄色とオレンジのほか紫もある。

【佐藤委員】

夏というとひまわりのイメージで、黄色系を入れると元気な感じである。赤は雨が降ったときにやや色が霞むので、黄色系かオレンジ系の方が色の統一感はあると思う。

【千町委員】

白は日が経つと褪せて汚く見える。

【船崎会長】

オレンジ系が一番映えると思うので、オレンジ系で統一することでよいか。

(よしの声)

次に、③一体感を出すための取組の工夫について、事務局に説明を求める。

【村山副所長】

・資料No.1に基づき説明

【船崎会長】

解決策にひと工夫することで、より地域に一体感が出る取組にするために必要な事項について意見のある方は挙手をお願いします。

一体感を出す取組には、継続性が重要だ。各団体には、できるだけ継続して行ってもらえるようお願いしなければいけないと思う。地域協議会が提案し、最終的にはそれぞれの団体で判断していただくことになる。

【村山副所長】

先ほど、プランターの配布やプランターに貼るシールの配布のほか、花の種類を揃えるといった意見も出ていたが、どこか特定の団体が配布先や希望数を取りまとめ、作成・購入・配布するとなると負担が大きいので、負担のかからない方法があれば、意見をいただきたい。

【横田委員】

前回、雁木にプランター置かせてもらうという話が出ていた。そうすると新道地区町内会長協議会にも説明する必要があると思う。各団体の活動場所は公園など複数あり、費用面は最終段階の課題としても、プランター設置を中心に各団体へ提案するのかなど、事業の方向性を事前に決めておくべきだと思う。

【村山副所長】

これまでの協議では、既存の活動をいかし、新たな負担をかけないことを基本としてきた。プラスアルファの部分についても、団体に提案するに当たり負担をかけない方法について意見をいただきたい。

【渡邊係長】

既存の活動や団体を大事にすることを前提とした解決策として、団体が現在活動している時期や、こだわりで植えている花などを変えたりするような無理はさせないという整理だったと思う。活動自体は今までどおりで、新道地区のあちこちで行われている植栽活動が異なる季節であっても全てオレンジ色で統一されていることにより、花の種類

の違いは分からなくても、色であれば視覚的に入りやすく、無理なく目立つ事業になるのではないかと。

【船崎会長】

現在の活動で統一感を出すのであれば、この地区に来ればこの色の花があるというのが分かりやすいと思う。ほかに意見がないようであれば、資料のとおり進めることとする。

最後に、④今後のスケジュール等を確認について、事務局の説明を求める。

【村山副所長】

5月も引き続きフレームワークの協議を行い、6月の地域協議会で提案書という形にまとめ、7月以降に団体へ提案していくスケジュールで進めていきたい。

また、地域では、5月23日に新道地区活性化委員会と稲田むすぶプロジェクトの植栽活動が行われる。ボランティアを募集しているので、可能であれば参加し、実際の現場を確認していただきたい。その他にも、鴨島1丁目の町内会活動は5月23日、稲田橋花いっぱい実行委員会の活動は6月4日に行われるなど、5月下旬から各所で植栽活動が行われる。地域への提案に向けて、各自で現地を確認いただきたい。

【船崎会長】

事務局から今後のスケジュールが示された。ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

【佐藤委員】

5月23日に二つの植栽が行われるが、小学校の運動会と重なっていないか。このような企画をする際は、周辺の学校の事業や授業予定も含めて調整した方がよいと思う。

【船崎会長】

今年は行事が重なったので、今後の課題として対応を考える必要があると思う。

都合の付く方は、地域の活動に参加や現地の確認をお願いします。

以上で、次第2 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

■次第3 その他 (1) 次回開催日程

【船崎会長】

事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：5月26日（火）午後6時から
新道地区公民館 多目的ホール（予定）

【船崎会長】

以上で、次第3その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

■次第3その他 (2) その他

【船崎会長】

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。